

国道155号の4車線化事業を推進するため信号機の設置に向けて 調査します



令和7年（2025年）9月1日
東海市記者会見資料
土木課

国道155号の4車線化事業を推進するためには、中央分離帯の閉鎖に伴い市道の裏道対策が必要となるが、現在の設計では、周辺地区の地形上の問題などから高さのある擁壁が連続して必要となり、工事費が多大となります。

以前より周辺住民から要望のあった、当該交差点に信号機の設置が可能となれば裏道対策が不要となりコスト縮減が図られるとともに、周辺住民の利便性の向上に大きく寄与するため、信号機設置に向けて調査します。

【主な事業内容】

令和7年度（2025年度）：交通量調査、交通量推計、
関係機関協議 等

【今後の予定】

令和8年度（2026年度）：県警本部協議、修正設計、測量 等

令和9年度（2027年度）：詳細設計

【予算措置】

<歳出>

下畠9号線始め3路線道路改良事業 11,970千円

